

国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の  
安全保障関連3文書の閣議決定の撤回を求めます（声明）

2023年1月31日  
日本社会医学会理事会

政府は、2022年12月16日、「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」の安全保障関連3文書（以下安保3文書）を閣議決定しました。

この安保3文書は、敵基地攻撃（先制攻撃）を認め、日本から戦争を仕掛けるという明らかに憲法に違反するものです。また、このような国の未来と国民の命にかかわる重大な問題を選挙で国民に問うこともなく、さらに国会の議論も経ずに閣議決定されました。当学会理事会はこの決定について撤回を求めます。

日本は、第二次世界大戦の深い反省から、軍隊を持たず、軍事力によらない問題の解決の道を追及する国家として憲法9条を定めています。安保3文書は、相手国領土を攻撃する「反撃能力」を持つことを盛り込み、また同盟国への攻撃も日本の脅威とみなし反撃することができるとする「武力行使の新3要件」を定めています。これは、戦後堅持してきた専守防衛を踏み越え、また憲法9条を逸脱するものです。

戦争は、多くの人間の健康と安全を脅かすものであり、人々の生命を奪う最大の社会の課題であり、社会医学が目指すものとは正反対のものです。歴史を省みても、小さな軍事的な動きが、止めることのできない軍拡競争につながり、戦争となり、多くの医師、医学者が協力させられてきたことを忘れるべきではありません。日本社会医学会は、軍拡、戦争につながる可能性がある安保3文書の閣議決定の撤回を強く求めます。

参考資料

内閣官房、国家安全保障戦略について 令和4年12月16日

国家安全保障会議決定 閣議決定

<https://www.cas.go.jp/jp/siryou/221216anzenhoshou/nss-j.pdf>

(2023年1月29日アクセス)